

研究計画書

ゼミ名	中島ゼミⅡ	チーム名	財務報表分析班
タイトル	その企業、大丈夫？笑		
テーマ群	b)財政・金融		
メンバー	藤間萌・丸尾葵		
研究計画内容	<p>〈目的〉</p> <p>近年、日本景気の悪化による企業倒産の不安が高まっている。中国や韓国との領土問題による日本企業のダメージも大きく、今後ますます日本経済は厳しい立場に追い込まれると考えられる。そのため、就職希望者は名の通った大企業に集中しがちで、倍率は中小企業と比べても7倍も差がある。これは大企業で働いていれば倒産することもないし、ある程度保障された将来を手に入れられると感じている人が多いからだを考える。しかし、JALやパナソニックなどの例をみると、大企業が必ずしも優良企業だとは言えなくなってきた。逆を言えば、この不況期に売り上げを伸ばす中小企業も存在する。それらを見分けるために財務諸表を読み取り、企業の現在と将来を数値で見ることを研究目的とする。</p> <p>〈内容〉</p> <p>企業の良し悪しを測るのには、<人・モノ・金>といわれるが、私たちはこの中の<金>の部分に注目しアプローチした。財務諸表を使って自己資本比率や流動比率を求め、中長期的、短期的に分けて企業の将来性を計る。その中で企業の資産運用の良い点や悪い点を明らかにしていく。また、各種業界のROAやWACCに注目し、企業のEVA（経済付加価値）を算出する。それらを比較し売り上げの良し悪しでEVAの数値も同じように変化するのか考えていく。</p> <p>〈期待される成果〉</p> <p>これから就職するにあたって、その企業が五年後、十年後も存在し続けるというのは絶対条件である。その指標の一つとして財務諸表を読みとり、各企業の強みや弱みを知ることによって企業選択に役立てる。また、企業の資産運用の改善点などを見つける。規模や売上高に騙されない“本当に良い企業”の共通点を知ることによって、今後の人生に活かしたい。</p>		